

平成28年度事業計画

公益財団法人福岡県すこやか健康事業団

1. 基本方針

平成27年11月、政府は「新三本の矢」を公表し、「的」とされる三つの目標①名目GDP6兆円、②希望出生率1.8、③介護離職ゼロの実現に向けた「一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策」（以下「緊急対策」という。）をとりまとめ、日本が目指す具体的な方向性が示されました。

平成28年度は、「緊急対策」を初めとした種々の経済政策の推進により、雇用や所得環境の改善が図られ、緩やかな景気の回復が見込まれると予測されていますが、高騰する社会保障費に対する安定的な恒久財源の確保が最重要課題となっています。

そのような中、平成28年度厚生労働省の予算案においても、健康長寿社会の実現、医療費等の伸びの抑制の実現に向けた、「予防・健康づくりの推進」、「総合的ながん対策の推進」、「医療分野の研究開発の促進」等が重点実施事項として掲げられています。

本法人においても公益財団法人としての社会的使命を全うするために、これらの課題に対応すべく、平成28年度の実業計画を策定致しました。

特に健診（検診）等を通じて、人々の健康管理の支援を行うと共に、得られた健康データの整備を図り、調査研究、普及啓発等の公益目的事業への活用を推進し、健康情報を提供することによる地域住民の健康知識の向上や公衆衛生学的意義の啓発に寄与して参ります。

また、文部科学省が検討を進めている学校における健康教育の中での「がん教育」についても、関係機関等との連携を図り取組みの強化を推進すると共に、女性特有のがん罹患の若年化を見据え、大学等の学生との連携を図り、若年層へのがん知識の普及も強化して参ります。

さらには、医療保険者によるデータヘルス事業や事業場におけるストレスチェック事業が本格的に実施されて参りますが、本法人はそれらの施策に対応すべく、ビッグデータ解析に有効なシステム等を活用し、利用者には有用な可視化を図って参ります。

平成28年度事業計画の遂行にあたっては、関係行政機関、医師会、大学等々の御指導と御支援のもと、役職員一丸となって事業の推進を図って参る所存ですので、本年度も宜しくお願ひ申し上げます。

2. 平成28年度事業計画

1) 健診事業等

- ①内閣府認定の公益財団法人としての使命である広域的健診データの集積を目的として、西日本地域での健診事業の拡大を図って参ります。
- ②国の掲げる「がん検診受診率50%」の推進を目標として、受診勧奨（コール・リコール）の体制を強化し、受診率の向上に寄与して参ります。
- ③健診（検診）精度の向上を目的として、機器のデジタル化を推進して参ります。
- ④労働安全衛生法の改正に伴う、ストレスチェック事業の実施体制の強化を図って参ります。

2) 調査研究事業

- ①データヘルス事業への対応を図るべく、学術研究センターを中心とした学術調査・研究事業を推進し、医療保険者等のニーズへ対応を図って参ります。
- ②関係大学等との連携を強化し、本法人の抱える健康データ等の有効活用を図り、地域住民の公衆衛生の向上に寄与して参ります。
- ③国の掲げる「女性の健康支援の充実のためのがん検診」にある「要精密検査」への受診勧奨についても体制強化を図り、精検受診率の向上ならびにがんの早期発見へ寄与して参ります。
- ④事業の成果については、年報や報告書の発行等を引続き行い、地域住民への情報発信と併せ、学会等においても発表し、広く公表して参ります。

3) 普及啓発事業

- ①主催事業である「がん征圧の集い」、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016福岡」を開催し、地域住民へのがん知識の普及啓発の推進を図って参ります。
- ②関係NPO法人との連携を図り、各種イベントや催しへ積極的に協力し、がん征圧活動の推進を図ります。また、公民館等での「出前講座」や小・中・高等学校における「がん教育」にも積極的に参画し、草の根運動的な「がん」に関する知識の普及啓発活動を推進して参ります。
- ③行政機関、医師会、医療関係団体等が開催するイベントへの支援、協力を行い、健康に関する普及啓発を図って参ります。

- ④地域の祭り、大学の学園祭での健康に関する知識の普及啓発を図って参ります。

4) 助成事業

- ①がん研究助成金事業については、研究機関や大学等の研究者に広く公募を行い、引き続きがん医療の発展に貢献して参ります。
- ②助成事業継続拡充のために、がん研究助成金に特化した募金活動を開始して参ります。